

市民の笑顔が最大の目標

坂本憲男

坂井市長

Norio Sakamoto

「融和」から「発展・飛躍」へ

坂井市は福井県の北部に位置し、平成18年3月20日に坂井郡の三国町・丸岡町・春江町・坂井町、4町が合併して誕生。人口約9万2千人、世帯数約2万9千戸、本県第2の都市である。

市の南部を九頭竜川が、東部の森林地域を源流とする竹田

川が北部を流れ、西部で合流し日本海に注ぎ込む。中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地および丘陵地が広がり、田畑が約36%、山林が約31%を占め、豊かな自然環境に包まれている。

また、東部に北陸自動車道・

坂井郡4町が合併し誕生した「坂井市」の初代市長に就任した坂本憲男氏は、1期目は「融和」を第一に、2期目は融和から「飛躍・躍進へ」と、新市発展に邁進。来年は合併10年目の節目の年にあたり、市の将来の道筋をつけるため、3選出馬をすでに表明。「住みよさランキング」全国上位の坂井市で、坂本氏は市民の「心満足度」1位を目指す。

丸岡ICや国道364号、西部に国道305号、中部に国道8号や福井金津線（嶺北縦貫線）、福井加賀線（芦原街道）が走るなど、主要な基幹道路が南北方向を中心に発達。鉄道網も市の中央を南北に走り、JR北陸線が2駅、えちぜん鉄道三国芦原線が9駅設置されている。

8年前、新生「坂井市」の初代市長に就任し新市のかじとり役を任された坂本憲男氏は、4年間、市民の融和を第一に考え、三国、丸岡、春江、坂井一全市民が「坂井市になった」と実感すること、そこからのスタートだった。似ているようでも、歴史も文化もそれぞれ特性がある、4つの町。1つの町のときはなかった魅力が4倍になったのだと、市民に実感してほしい。そんな思いで職務を遂行する日々を送った。

市民一人一人にその実感が